



学校だより かわきた



令和8年6月26日
川北町立川北小学校
校長 笹谷 真理子

「自律～自分から～」 「協働～仲間と共に～」 「挑戦～ねばり強く～」



AI の時代だからこそ、大切にしたい「自分で考える力」



1学期もまとめの時期に入ります。子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。24日には石川県や川北町の教育委員会の皆様が子どもたちの学習の様子を参観されました。どのクラスも落ち着いて一生懸命学びに向かっていて、たくさん褒めていただきました。

さて、最近、「AI(人工知能)」の進化がよく話題になります。わからないことを一瞬で教えてくれたり、文章を作ってくれたり、大人にとっても子どもにとっても非常に便利な時代になりました。

新聞のコラム(4月18日付「天声人語」)に、今春の大学入学式で若者たちに贈られた言葉が紹介されていました。そこには、これからの時代を生きるヒントが詰まっていた。

「AI には身体がなく、心もない。人間の未来を決定するのは、人の心だと私は信じています」(東京大学・野田秀樹さんの言葉)

「変化する世に正解はない。(中略)強い意志を持ち、自分の頭で考え続けよう」(金沢大学のメッセージ)

AI は過去のデータから「一般的な正解」を出すのは得意ですが、私たちの「心」や「感情」までは持っていません。また、これからの変化の激しい社会では、「誰かにとっての正解」が、自分にとっての正解とは限らない場面がたくさん出てきます。

AI を上手に使いこなす便利さを知りつつも、最後は「自分はどうしたいのか」「何が正しいと思うのか」を自分の頭で考え、心で感じる力こそが、これからの時代を生きる子どもたちの強い軸になると思います。日々のちょっとした関わりの中で、子どもたちの「考える種」をまくことができます。

・すぐに答えを教えず、「どう思う?」と聞いてみる

すぐに大人が答えを言ったり検索したりせず、「〇〇さんはどう思う?」と一緒に考える。

・「失敗」や「遠回り」を味方にする 効率よく正解にたどり着くことだけがすべてではありません。間違えたり、悩んだりして試行錯誤するプロセスそのものが、脳と心を育てる一番の栄養になります。

学校では、「脳に汗をかく!」を合言葉に粘り強く自分で考えることを大切にしていきます。AI という便利な相棒を味方に付けながらも、自分の足でしっかりと歩いていける強い心を、学校とご家庭で一緒に育てていきましょう。



地域の皆様ありがとうございます!

1学期も、たくさんの地域の方にお力を貸していただきました。ありがとうございました!おかげで子どもたち充実感を味わいながら学んでいます!朝の見守り活動も子どもたちの安全のためにありがとうございます!

